



どんな工事？

たくさんの方々に利用して頂いている高知西バイパス。現在、下り側の終着点は鎌田インターチェンジですが、その更に先にある吾川郡いの町 波川まで交通網は延長します。当工事は、鎌田～波川を結ぶ約1kmの道路の基礎となる、盛土や切土及び排水構造物などをメインとして施工をしております。施工延長がとても長く、現場条件が厳しい工事ですが、周囲の方々の御協力も有り順調に施工が進んでおります。工事完了まで安全・安心を貫き、施工を進めて参ります。

※平成30年9月末の様子を掲載しています。



道路の基礎となる盛土をしています。マシンコントロールブルドーザーやRTK-GNSSと言われる技術を用いた振動ローラーを使用し、最先端技術で高品質な施工を実施しています。



終点付近の波川箇所では、2基のボックスカルバート間の盛土を施工中。ここでも鎌田箇所と同様、最先端のICT技術を駆使して盛土を施工しています。



ボックスカルバートの内部や両端部の排水構造物などを施工中です。道路完成後までに排水対策を十分に施すことで、今後の道路メンテナンスや機能の維持、周囲の排水機能の向上にも貢献します。



現場の中間付近に存在していた山は、現在掘削途中です。完成予定の道路を挟むようにして、山を切崩し、山肌に入道として使用するスロープを施工しています。



UAV《ドローン》の撮影によって作成した現場の3次元データ(着工前)